

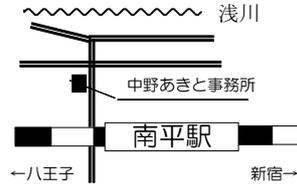


日本共産党市議会議員
中野あきと

みどりと清流



中野あきと事務所ニュース 発行責任者 小山敏正
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350)



生活相談など
お気軽に
お立ち寄り下さい
中野あきと事務所

https://midoritoseiryu.skr.jp

日野市の気候変動対策も頓挫しかねない 巨大データセンターの建設計画

9月号で紹介した日野自動車工場跡地に計画されている巨大データセンターは、周辺地域の住環境にとっても、日野市の環境・気候変動対策にとっても、きわめて重大な計画であり、事業者・三井不動産の姿勢・対応も厳しく問われる事態となっています。この間の住民説明会や議会質疑の中で明らかになった事実、問われる問題は…。

低層住宅地域に隣接する72㍓の高さの巨大施設

10月2日、事業主である三井不動産による説明会で明らかにされたところによると、データセンターとして高さ72㍓の2棟など、合わせて3棟が建設されることになっています。

データセンターは、気候変動対策に重大な影響を与える施設。膨大な電力を消費しCO2を排出する施設であることが社会的問題となっています。地域の住環境に止まらず、市民全体にとっても重大な問題です。

- 三井不動産は説明責任
- 社会的責任をはたせ

低層住宅地域に隣接して72㍓の巨大施設を建設する計画は、市のまちづくりマスタープラン

等が求めている、「統一感のある景観」「周辺環境と調和の取れた建物高さ」に明らかに反しています。

三井不動産は、まちづくり条例に基づき話し合いや再度の説明会を求めている、これに同じようとはしません。さらに、気候変動対策への影響が懸念される電力消費量やCO2排出量の予測値に至っては、「秘匿性」を理由に開示を拒み続けています。いま企業は従業員や消費者、環境、地域経済や自治体への配慮、社会貢献など、社会的責任が問われ求められる時代になっており、三井不動産の一連の姿勢・対応は、まさに社会的責任が厳しく問われる事態です。

環境先進都市として求められる日野市の指導・対応力

日野市は、戦後高度成長期における乱開発から緑と清流を守る環境行政を確立しながら、環境基本条例、まちづくり条例など先進的な条例を制定してきました。

そうした中で持ち上がった巨大データセンター建設計画は、地域のまちづくりや住環境、日野市の環境政策・気候変動対策に、文字通り重大な影響を与えるものとなっています。

《お詫びと訂正》
11月号で今年10月の総選挙の日野市における得票結果をお知らせしましたが、比例区における自民党の得票率表記に誤りがありました。正しくは23・12%でした。ご指摘、ありがとうございます。

高幡不動尊参道の「もみじ灯路」

今年も11月22、23日の両日、「もみじ灯路」が行なわれ、午後5時から8時まで点灯されました。いよいよ街は師走。今年も残りわずかです。



環境先進都市として築き上げてきた日野市の環境行政の誇りにかけて、まちづくり条例、環境基本条例を駆使して、確固たる立場で指導していくことが日野市に求められています。(次号では共産党市議団の政策等について報告します)

<連載>不正問題を2度と繰り返さないために!

市政で起こったこと、そしてこれから 【第5回】「河内王国」の大罪 川辺堀之内土地区画整理事業をめぐる②

川辺堀之内土地区画整理事業では、元副市長の河内久男氏とともにもう1人、有罪判決(懲役2年・執行猶予4年)を受けた人物がいます。川辺堀之内土地区画整理事業の受託業者である企業公社社員0氏で、河内氏の「腹心」として動いていたとされる人物です。区画整理などを請け負う民間の会社に勤めていた0氏は、これまた河内氏の「腹心中の腹心」とされていた堀之内元副市長(当時企業公社社長)に声をかけられ企業公社に転職、直後から企業公社が受託した川辺堀之内土地区画整理事業に関わり、河内氏のもとで補助金詐欺など一連の不正に手を染めてしまったのです。

河内氏の刑事裁判で証拠として提出されたこの0氏の供述調書には、補助金詐欺等に手を染めた背景や河内氏とのやりとりが生々しく記載されています。

以下は、そのごく一部です。

中野あきと

【供述調書】

- 河内さんが私に対し「私の報酬や皆の休日手当を調査設計費に計上するように」と言って、調査設計費の科目の余裕分から河内さんの給料や私たちの休日手当を支出するように指示してきました。私は、この時、河内さんに「ありえないことですよ。まずいんじゃないですか」などと意見しました。……しかし河内さんは、……問題ないなどと言ってとりあってくれませんでした。
- 私は河内さんが、めっちゃくちゃなことを言っていると思いました。河内さんに逆らえば組合から放逐されてしまうことが怖くて、それ以上意見できませんでした。河内さんは、以前から「事業を延伸してでも市助成金を取りきる」などと組合役員などに説明していました。私は……組合の資産も潤沢であるし、助成金の総額を取りきるのには難しいのではと思っていましたが、河内さんが宣言していることに意見できるはずもありませんでした。
- 河内さんは……河内さんの発案で各種手当等を理事や職員に次々と払い込んでいったこと、さらには河内元副市長の肩書により、理事長ら役員に絶大な信頼を得ていたことから、組合の中で天皇のごとく振舞っていました。

国保の値上げはやめて

日野市が2025年度国民健康保険料の値上げを予定していることを知りました。来年度値上がりは、4人家族で年収400万円が28500円の値上げになり、さらに2037年まで2年ごとに7回の値上げ計画ということです。

2018年から制度が変わって東京都が財政運営の主体になったことによるそうですが、こんな無茶なことは「きまり」だからといっても許せません。

しかも物価高騰で市民の暮らしは大変な状況です。国民年金の加入者は自営業の方、年金暮らしの方、非正規雇用の方など低所得者の方が多いのです。加入者の負担は大変になります。

国保の運営には、国・東京都の財政支援が欠かせません。全国知事会では3兆円の支援を国に要請しています。これ以上市民の暮らしを苦しめないでください。南平 (M)

学校給食費無償化 日野市が予算計上

日野市は12月議会へ、3学期の学校給食の無償化に掛かる経費を補正予算に盛り込んで提案しました。総額は1億7600万円です。そのうち東京都の補助金が1億5400万円、市の負担は2200万円となっています。

この補正予算は各常任委員会でも審議され、議会最終日の17日に可決・成立する見通しです。

なお、1年間の通年予算は総額7億6000万円です。そのうち都の補助金が約6億5600万円、市の負担金は約1億4000万円です。来年度以降も予算化される見込みです。

これにより月額5310円(小学生高学年)、6050円(中学生)などの負担が解消されます。

補修される平山小学校裏の歩道の凹凸

7・8月合併号に記載していた平山小学校裏の歩道の凹凸について、12月議会の補正予算に補修経費が計上されたことが明らかになりました。

桜の木「根上がり」で歩道部分の一部が押し上げられデコボコになっていたので、歩くのが危ないと言った声が寄せられ、担当課に補修を求めていたものです。



歩道橋「ふれあい橋」の工事 路面補修と通行区分実施



路面が劣化していた歩道橋「ふれあい橋」の補修工事が始まりました。あわせて要望が出されていたラインによる歩行者と自転車の通行区分も行われます。担当課では歩道橋の建前から歩行者優先。自転車通行はくれぐれも安全でとのこと。工事終了は来年3月の予定。工事中も通行は可能です。

大坪冬彦市長 市長選不出馬を表明

日野市の大坪冬彦市長は11月27日記者会見を行い、来年4月に行われる日野市長選挙に立候補しないことを明らかにしました。大坪氏は、元副市長による不正問題の再発防止に一定のめどがあったこと、デジタル化や脱炭素化など、時代の流れを捉える新しいリーダーが必要と、不出馬に至る理由を述べました。

日本共産党発行
赤旗
日 札 月 3497円
日 札 月 990円

【無料法律相談日】2025年1月

(お申込み) ☎042-582-1042
わたなべ三枝・清水とし子事務所

■ 9日(木) 午後1時~3時
市役所6階共産党控室

短信

セルフレジの普及もあり、黙ったままでも買える物ができる。時代の趨勢には逆らえないが何か味気ない。店員さんとのやりとりで郷愁を感じるのも、昭和世代だからだろうか▼行きつけの理容店はお連れ合いに先立たれた女性が一人で切り盛りしている。缺を一人ながらの客との会話が大切な商売だが、上手な相槌で床屋政談が弾み退屈しない▼在職中、最寄りの駅前の小さな洋食店をよく利用した。ある日、鞆を忘れ慌てて引き返すと店員さんが「気が付かなくてすみません」と、自分の不始末を詫言るように忘れ物を渡してくれた。来店者の持ち物には目を配っているのだろう。接客業のプロフェッショナルな心遣いが心地よかった▼今年の流行語大賞は、テレビドラマ『不適切にもほどがある!』の略称『ふてほど』に決まる。阿部サダオさんが演じる「昭和のおじさん」が、令和にタイムスリップする物語だ。時代がいつであれ不適切は不適切と教えてくれることが授賞理由になった▼今年最大の不適切と言え、健康保険証の廃止だろう。役所の窓口にはその問い合わせて殺到しているという。昭和の夫婦漫才の名台詞「責任者出て来い」が蘇る。元デジタル相のあの強引な御仁は今何をしている▼年末には床屋政談に花を咲かせ、さっぱりした頭で年明けを迎えよう。来年は丁度昭和百年だとか。併せて戦後80年に当たる。(K)